

日本比較政治学会 ニュースレター

Japan Association for Comparative Politics

No. 55 October 2025

-
1. 2025年度総会報告
 2. 理事会報告

3. 企画委員会からのお知らせ
 4. 事務局からのお知らせ
-

2025年度総会報告

日時：2025年 6 月 29 日(日) 13 時～13時

26分

形式：Zoom によるオンライン開催

【開会宣言】

久保常務理事により、総会の開会が宣言され、総会出席者は事前のオンライン調査によると、出席者が40名、委任状を提出した者が150名であることが報告された。続いて、議長の選任が行われ、久保常務理事より中田瑞穂理事が推薦され、承認された後、中田議長に議事が委ねられた。

【会長挨拶】

稗田会長より、挨拶があった。鷺田オンライン研究大会運営委員長をはじめとした関係各位の尽力により、研究大会がつつがなく進行していることに謝意が示された。また、昨年6月の現理事会発足後、年報の刊行が大幅に遅れたことによって会員各位にご迷惑をかけた点についてお詫びが述べられ、今後1年はイレギュラーなことが生じないよう、学会運営にあたる所存であると述べられた。

【議 題】

1. 各種委員会報告

(1) 企画委員会

中井企画委員長より、2025年度の研究大会（オンライン）について、自由企画として4件の応募があったこと、自由論題の応募が16件あり、15件が採択されたこと、また研究大会の隔年オンライン化に伴って導入された院生等研究者向け大会参加費助成制度について、3件の応募があり、全て採択されたことが報告された。

(2) 年報編集委員会

外山年報編集委員長より、年報第27号の作業が諸般の事情により大幅に遅れていることが報告された。

(3) オンラインジャーナル編集委員会

東島オンラインジャーナル編集委員長より、昨年の年次大会以降に合計で7本の投稿があり、4本が公開済みであること、現在2件が査読中であることが報告された。

(4) 渉外委員会

林渉外委員長より、昨年の年次大会以降、

ホームページのアップデート、各種お知らせの掲載を進めてきたこと、研究大会のペーパーについては事前のアップロードが全て完了していることが報告された。

(5) ニューズレター委員会

油本ニューズレター委員長より、昨年の年次大会以降、予定通りにニューズレターを発行済みであることが報告された。

(6) オンライン研究大会運営委員会

鷺田オンライン研究大会運営委員長より、6月28日時点における登録者数は190名、自由企画4の非会員登録67名であることが報告された。また、6月29日午前までのセッションにおいて、特に大きなトラブル等報告されていないことが報告された。

2. 事務局報告

久保常務理事より、2025年6月26日時点の会員数について、総数が585名、その内訳としては、正会員が548名、院生会員が33名、海外正会員が3名、海外院生会員が1名であることが報告された。昨年度総会で報告された会員数は598名であり、微減の傾向が続いていることが報告された。

3. 2024 年度決算

(1) 2024年度決算報告

久保常務理事より、2024年度決算に関して説明が行われた。このうち、支出の部の年報発行費については、2024年度はミネルヴァ書房の都合により出版が遅れ、年報費の支払いが2024年度に完了できなかったため、未払金となっていること、そのために2024年度末時点での学会の一般会計資産は、2024年度末の繰越金額に本項目の未払金150万円を合計し

た額になっているとの説明があった。

(2) 2024年度会計監査報告

辻監事より、会計監査について報告があった。2025年4月16日、オンラインにて川中監事・辻監事の2名で監査を行ったこと、領収書等、会計監査用の資料を確認した結果、適正であるとの報告があった。

(3) 2024 年度決算承認

中田議長より、総会参加者に承認が求められた。特に異議は出されず、2024年の決算報告は承認された。

4. 2025年度予算

久保常務理事より、2025年度予算の説明があった。理事選挙の年度のため、選挙管理の費用を計上している旨等、各項目について説明が行われた。中田議長より、総会参加者に承認が求められた。特に異議は出されず、2025年予算は承認された。

5. 監事承認

稗田会長より、川中監事が2年の任期満了を迎えるため、後任として堀江孝司会員（東京都立大学）に依頼する旨の説明がなされた。中田議長より、総会参加者に承認が求められた。特に異議は出されず、堀江会員の監事就任が承認された。

6. 各種委員長紹介

稗田会長より、各種委員長の紹介がなされた。企画委員長は次年度年報編集委員長（中井理事）に、企画副委員長は次年度企画委員長（岡田理事）になることが報告され、あわせて企画副委員長には中田瑞穂理事が就任する旨の説明があった。

7. ゆうちょ銀行口座名義変更の規制強化に伴う学会規約改正について

稗田会長より、ゆうちょ銀行によるマネーロンダリング対策厳格化に伴い、口座名義変更には設立年月日や現住所を記載した学会規約が必要になったことから、口座名義変更を可能にするために設立年月日と現住所を追加した規約改正の提案があった。中田議長より、総会参加者に承認が求められた。特に異議は出されず、規約改正は承認された。

8. 学会奨励賞について

末近副会長・奨励賞選考委員より、審査過程および審査結果について報告があった。大西裕会員（神戸大学）を審査委員長とする5名の審査委員によって審査が行われたこと、審査対象が年報・オンラインジャーナル掲載論文に加えて2024年度研究大会の自由論題ペーパーにも拡大されたため、審査対象が合計22本と大幅に増えたこと、厳正な審査の結果、審査委員の満場一致にて2025年度奨励賞の受賞作として于海春会員の「権威主義体制国家

における情報統制—武漢「封鎖」に対するインターネット上の感情温度の分析から—」（『日本比較政治学会年報第26号』、2025年、pp. 217-244）が選ばれ、前日の懇親会にて授賞式が行われたことが報告された。

9. 2026年度研究大会の開催校について

稗田会長より、来年度は6月20-21日に日本大学での開催が予定されていること、また来年度は当学会初の試みとして、日本選挙学会と同日・同会場で同時開催される予定であること、自由論題・自由企画などは各学会で独自に開催される一方、共通論題と懇親会は両学会合同で開催の予定であることが報告された。

【閉会宣言】

中田議長より、すべての議事が完了したとの報告がなされた。その後、久保常務理事により、閉会が宣言された。

13時26分終了。

（事務局）

2024年度 決算案

自2024年 4月 1日
至2025年 3月31日

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
繰越金	¥ 16,543,966	研究大会開催費	¥ 796,300
2024年度会費収入	¥ 4,487,000	年報発行費	¥ 1,500,000
雑収入	¥ 149	オンラインジャーナル編集委員会費	¥ 20,000
		年報編集委員会費	¥ 20,000
		企画委員会費	¥ 20,000
		奨励賞選考委員会費	¥ 34,455
		理事会会議費	¥ 61,660
		ホームページ維持費	¥ 9,093
		事務局費	
		通信運搬費	¥ 1,480
		雑費	¥ 428
		事務委託関係費	¥ 2,135,265
		通信運搬費	¥ 39,254
		クレジットカード手数料	¥ 108,225
		振込等手数料	¥ 1,980
		繰越金	¥ 16,282,975
合計	¥ 21,031,115	合計	¥ 21,031,115

一般会計資産	
	金額
郵便振替口座	16,704,593
通常郵便貯金	1,062,188
現金	16,194
合計	17,782,975

会計監査の結果、上記の収支計算書は適正に表示されていることを認める。

2025年4月16日

日本比較政治学会監事
川中 豪
辻 由希

2025年度予算案

自2025年 4月 1日
至2026年 3月31日

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
繰越金	¥ 16,282,975	2025年度研究大会開催費	¥ 600,000
2025年度会費収入	¥ 4,470,000	院生等研究者向け大会参加費助成費	¥ 300,000
雑収入	¥ 150	年報発行費	¥ 1,700,000
		オンラインジャーナル編集委員会費	¥ 20,000
		年報編集委員会費	¥ 20,000
		企画委員会費	¥ 20,000
		理事会会議費	¥ 70,000
		ホームページ維持費	¥ 10,000
		事務局費	
		通信運搬費	¥ 5,000
		雑費	¥ 10,000
		事務委託関係費	¥ 2,000,000
		通信運搬費	¥ 10,000
		クレジットカード手数料	¥ 100,000
		振込等手数料	¥ 5,000
		奨励賞関連費用	¥ 35,000
		選挙管理委員会費	¥ 250,000
		繰越金	¥ 15,598,125
合計	¥ 20,753,125	合計	¥ 20,753,125

理事会報告

第89回理事会 議事録

2025年4月19日（土）午前10時～11時30分
Zoomによるオンライン開催

出席者：油本真理、林載桓、上谷直克、岡田
勇、久保慶一、小松志朗、近藤康史、
作内由子、末近浩太、杉浦功一、杉
本竜也、中井遼、中田瑞穂、馬場香
織、稗田健志、平松彩子、牧野久美
子、鷺田任邦、（監事）川中豪、（運
営委員）稲田奏

委任状：安中進、粒良麻知子、西岡晋、東島
雅昌、宮脇昇

欠席：外山文子

2025年4月19日にZoomによるオンライン形式に
て第89回理事会会合が開催されました。

審議事項は下記の通りです。

1. 2024年度決算について

久保常務理事より、2024年度決算案につい
て説明がなされた。続いて、川中監事から監
査報告があり、同決算案は原案どおり承認さ
れた。

2. 2025年度予算案について

久保常務理事より、2025年度予算案につい
て説明があり、同予算案は原案どおり承認さ
れた。

3. 会員の入退会について

久保常務理事より、7名の入会申請者が示さ
れ、すべて入会が承認された。なお、新入会

員の氏名は、陳堃、塩田潤、鳥羽真優子、垣
原史歩、工藤裕子、細井優子、吐合大祐であ
る。また、8名の退会申請者（うち1名は会費
未納）、前回理事会にて会費未納のため退会申
請を保留したがその後会費完納が確認された
退会申請者1名、12名の会費3年未納による退
会者も併せて報告された。なお、退会希望に
ついては、例年の対応を踏襲し、2024年度ま
での会費を完納している8名（前回理事会で退
会承認を保留した1名を含む）の退会を承認す
る一方、会費未納者1名については退会承認を
保留することが決定された。また、3年未納に
よる2024年度末退会者のうち、本年4月に1年
分の会費納入を行った1名については、会員規
則第5条「会費を3年以上滞納した者は退会し
たものとみなすことができる。但し、会費滞
納により退会したとみなされた者は、理事会
の議をへて滞納分会費を納入することにより、
会員資格を回復することができる。」という規
定に鑑み、現時点では会員資格回復を議決せ
ず、残り2年分の会費納入が確認された後に会
員資格回復について審議することとなった。

4. 日本学術会議との共催企画パネルの一般 参加者の参加費無償化について

稗田会長より、今年度研究大会における日
本学術会議との共催企画パネルに関して、日
本学術会議の規定を踏まえ一般参加者の参加
費を無料にするという提案があり、承認され
た。

5. 奨励賞受賞者推薦について

末近副会長・奨励賞選考委員より、2025年

度奨励賞の受賞作として于海春会員の「権威主義体制国家における情報統制—武漢「封鎖」に対するインターネット上の感情温度の分析から—」（『日本比較政治学会年報第26号』、2025年、pp. 217-244）が選ばれたことが報告され、承認された。

6. 次期監事選任について

稗田会長より、次期監事として堀江孝司会員（東京都立大学）が推薦され、承認された。

7. ゆうちょ銀行口座名義変更の規制強化に伴う学会規約改正について

稗田会長より、ゆうちょ銀行口座の名義変更を行うため、学会所在地にかかる条文（規約第14条）と設立年月日（付則1）を学会規約に追加した規約改定案が示され、承認された。

8. 2026年度研究大会について

岡田企画副委員長より、2026年6月20-21日に日本大学にて選挙学会と同時期・同場所開催が予定されている2026年度研究大会について、以下の3点が提案され、承認された。

(1) 2026年度企画委員会は、以下の構成とする。委員長：岡田勇（名古屋大学）、副委員長：中田瑞穂（明治学院大学）、委員：森下明子（立命館大学）、井関竜也（東京大学）、源島穰（東北学院大学）、向山直佑（東京大学）、白谷望（愛知県立大学）

(2) スケジュール調整の便宜上、大会当日は日本選挙学会と同じ時間割スケジュールとし、共通論題と懇親会を選挙学会との共同開催とし、また2日目の午前11:30-13:00の枠でポスター報告を行う。

(3) 両学会同時期・同場所開催のため、以下のように登壇制限を修正する。「本学会では、原則として、同一会員による複数回の報告を認めておりません。今回の大会でも、分科会／自由企画／自由論題／ポスター報告（単著／共著を問わない）の種別にかかわらず、1回だけ登壇して口頭報告ができます。ただし、プログラムに報告論文の著者として氏名を2回掲載することはできません（例：単著／共著論文の口頭報告を1回行う＋その他の共著論文の著者としてプログラムに1回記載される）」

【報告事項】

1. 2025年度研究大会準備の進捗状況について

中井企画委員長より、今年度研究大会のプログラム案（資料7）が示され、すでに3月刊行のニューズレターにて公開済みであること、また本理事会終了後に学会ウェブサイト上でプログラムを公開することが報告された。また、鷺田オンライン大会運営委員長からは、オンライン大会開催の予算の見積もりとその内訳、チャットによる無料の懇親会開催予定など、研究大会に向けた準備状況が報告された。

2. 企画委員会企画（分科会・共通論題）の企画事前公開方法について

中井企画委員長より、第46回理事会決定（2013年4月13日）（NL. 31）「企画委員会企画は決定され次第、学会ホームページで会員に周知すること」について、今後は「企画委員会企画は決定され次第、その企画趣旨と登壇

者を学会ホームページで会員に周知すること」と修正して運用することが報告された。

3. 会員の異動について

久保常務理事より、2025年4月1日時点の会員数について、総数が587名、その内訳としては、正会員が548名、院生会員が35名、海外正会員が3名、海外院生会員が1名であることが報告された。

4. ニュースレター発行について

油本ニュースレター委員長より、本年3月に第54号が発行され、学会ウェブサイト上で公開していることが報告され、関係各位に謝意が示された。

5. 年報第26号の刊行の遅延について

稗田会長より、年報編集委員会は2024年5月の段階で入稿していたにもかかわらず、刊行時期が2025年3月まで遅延した理由と、今後の再発防止策について、刊行元のミネルヴァ書房の担当者に問い合わせを行ったこと、ミネルヴァ書房からは、問題発生時の調整の機会を頻回に設けるなど、今後このような問題が生じないよう対策を取る旨の回答があったことが報告された。

6. オンラインジャーナル『比較政治研究』の編集状況について

東島オンラインジャーナル編集委員長より、2024年10月の前回理事会以降に全部で3件の新規投稿と、2本の修正後再投稿となっていた論文の計5本の投稿があり、うち4本が採択されて掲載済みであることが報告された(東島委員長欠席のため、事務局代読)。

その他

1 次回理事会の日程について

稗田会長より、次回理事会について、研究大会中の6月29日(日)の12時10分からオンライン形式で開催することが提案され、承認された。

2 2026年度年次大会開催日程について

稗田会長より、2026年度研究大会について、日本大学にて6月20日と21日に開催する予定であることが報告された。

以上

第90回理事会 議事録

2025年6月29日(日) 午後12時10分～12時35分
Zoomによるオンライン開催

出席者：油本真理、安中進、林載桓、上谷直克、岡田勇、久保慶一、小松志朗、近藤康史、作内由子、末近浩太、杉浦功一、杉本竜也、粒良麻知子、外山文子、中井遼、中田瑞穂、西岡晋、馬場香織、稗田健志、東島雅昌、平松彩子、牧野久美子、宮脇昇、鷺田任邦、(運営委員) 稲田奏

2025年6月29日にZoomによるオンライン形式にて第90回理事会会合が開催されました。

審議事項は下記の通りです。

1. 会員の入退会について(資料1)

久保常務理事より、5名の入会申請者が示され、すべて入会が承認された。なお、新入会

員の氏名は、濱田真里、松下知史、松原優華、深田明、大場樹精である。前回理事会以降、退会申請はなかったことが報告された。

2. 予算案の修正について（資料2）

久保常務理事より、2025年度の予算案について、2025年度内に実施予定の理事選挙の選挙管理費を追加した修正予算案が提案され、承認された。

報告事項は、以下の通りです。

【報告事項】

1. 会員の異動について

久保常務理事より、2025年6月26日時点の会員数について、総数が585名、その内訳としては、正会員が548名、院生会員が33名、海外正会員が3名、海外院生会員が1名であることが報告された。

2. 研究大会について（オンライン研究大会運営委員会）

鷲田オンライン研究大会運営委員長より、6月28日時点における登録者数は190名、自由企画 4の非会員登録67名であることが報告された。また、6月29日午前までのセッションにおいて、特に大きなトラブル等報告されていないこと、また開催費用の見積もりは予算の範囲内に収まっていることが報告された。

3. 総会式次第について（資料3）

総会式次第に基づき、総会にて報告予定の各種委員長より報告があった。

中井企画委員長より、自由論題の応募が16件あり、15件が採択されたこと、また研究大

会の隔年オンライン化に伴って導入された院生等研究者向け大会参加費助成制度について、3件の応募があり、全て採択されたことが報告された。

外山年報編集委員長より、年報第27号の作業が諸般の事情により遅れていることが報告された。

東島オンラインジャーナル編集委員長より、昨年の年次大会以降に合計で7本の投稿があり、4本が公開済みであること、現在2件が査読中であることが報告された。

林渉外委員長より、昨年の年次大会以降、ホームページのアップデート、各種お知らせの掲載を進めてきたこと、研究大会のペーパーについては事前のアップロードが全て完了していることが報告された。

油本ニューズレター委員長より、昨年の年次大会以降、予定通りにニューズレターを発行済みであることが報告された。

その他

1. 次回理事会の日程について

稗田会長より、次回理事会について、10月25日（土）の午前10時からオンライン形式で開催することが提案され、承認された。

以上

企画委員会からのお知らせ

2026年度研究大会（日本大学、6月20日（土）・21日（日）予定）

*開催場所および日程は2025年10月時点での予定です。今後変更もあり得ますのでご注意ください。

「自由企画」「自由論題」「ポスター報告」の募集

2026年度研究大会は、日本選挙学会との同日・同場所開催となります。つきましては、プログラム編成上の都合から、以下「4 応募資格」に記載の報告回数制限を設けます。ご応募に際しましては、予めご承知おきいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 「自由企画」の募集

自由企画は、報告・討論・司会をパッケージにしてご提案頂くものです。さまざまな共同研究の発表の場として、また自由な研究交流の場として、自由企画のご応募をお待ちしております。学会のますますの活性化のため、会員の皆様で企画をご相談の上、パネルとしてご応募ください。

2 「自由論題」の募集

自由論題は、単独でご報告される会員のための発表の場です。若手会員の方はもちろん、中堅以上の会員にもご応募いただけることを期待しております。先端的研究や独創的研究をはじめとする、魅力ある自由論題のご応募をお待ちしております。

3 「ポスター報告」

ポスター報告は、報告ペーパーの提出を行わず、B0程度のサイズ（最大）のポスターによりご報告いただくものです。大会期間中の一定時間（90-120分、詳細は後日決定）、ポスターを用いながら来場者に適宜説明を行っていただき、その場で自由かつ活発に議論いただく機会を設けます。

4 応募資格

自由論題の報告者および自由企画の報告者・討論者・司会者は会員に限ります。ただし、入会申込書を事務委託先に提出した非会員は、会員資格が発生する前でも応募することができます。非会員を含む応募については、入会申込書を事務委託先に提出済みであることを明記してください。

本学会では、原則として、同一会員による複数回の報告を認めておりません。今回の大会でも、分科会／自由企画／自由論題／ポスター報告（単著／共著を問わない）の種別にかかわらず、1回だけ登壇して口頭報告ができます。ただし、プログラムに報告論文の著者として氏名を2回掲載することはできません（例：単著／共著論文の口頭報告を1回行う＋その他の共著論文の著者としてプログラムに1回記載される）。

日本選挙学会でも同じルールを設けています。両学会所属の会員には、上記がそれぞれ適用されます。つまり両学会のプログラム全体で、最大2回の口頭報告、最大4回のプログラムへの氏名掲載が可能です。ただし、ポスター報告については同じ時間帯に開催されますので、いずれかの学会で1回のみとします。

5 使用言語

自由企画・自由論題ともに、ペーパーと発表で利用できるのは、日本語または英語とします。ペーパーのみ英語、発表は日本語でも差し支えありませんが、発表を英語で行う場合にはペーパーも英語としてください。ペーパーを英語で提出される場合、その報告タイトルは英文としてください。発表を英語で行う場合には、プログラムにその旨を記載しますので、応募段階でお知らせください。ポスター報告についても、日本語または英語とします。

6 応募方法

自由企画・自由論題いずれに応募される場合にも、内容のレジュメ（A4用紙1枚程度、ワードファイルもしくはテキストファイルにて作成）を、2025年12月15日（月）までに、下記宛に電子メールの添付書類としてお送りください。

応募先：企画委員長 岡田勇 E-Mail : okada.isamu.w8@f.mail.nagoya-u.ac.jp
（@を@に変更の上、ご送信下さい）

次ページに続きます

自由企画・自由論題・ポスター報告いずれにつきましても、企画委員会において採否を決定の上、お知らせいたします。開催校施設等の問題でセッション数に制約があるため、ご希望に添えないことがある旨、あらかじめご了承ください。また応募が採択された暁には、自由企画と自由論題につきましては報告用のペーパーを所定の期限までに必ず提出していただくよう、お願いいたします。なお、自由企画・自由論題・ポスター報告ともに、応募以降に報告タイトルを変更することはできません。共著論文による報告の場合には、応募以降、著者の構成・順番の変更もできません。また、共著論文に関しましては報告回数制限にご注意いただき、どなたが報告されるかを応募時点で明確にしてください。複数の方が口頭報告することは可能です。その上で、必ず応募時点で報告者として指定された方が大会当日に報告を行ってください（プログラム編成上、重大な支障が生じることがありますので、厳守ください）。

自由企画につきましては、企画委員会から若干の変更などをお願いする場合があります。自由論題につきましては、テーマや採択数を考慮して、企画委員会でセッションの組み方、司会者、討論者などを決めさせていただきます。ポスター報告の具体的なサイズや日程は採択後に決定されます。

なお、皆様の企画のご参考に供するために、企画委員会企画の内容について、10月25日（土）の理事会で決定後、準備が整い次第、学会ウェブサイトに掲載する予定です。

企画委員会委員長 岡田勇

選挙管理委員会から

日本比較政治学会理事選挙について

2026年1月22日（木）から同2月19日（木）に、次期理事選挙がオンライン投票にて実施されます。本学会の理事会は、選挙による選出理事と次期役員選考委員会による選出理事によって構成されます。理事選挙は、会員の選挙によって18名以内の理事を選出するものであり、投票が行われる年の前年の11月30日時点での会員が、選挙権および被選挙権を持つことになります。

オンライン投票は、日本比較政治学会オンライン会員情報管理システムを通じて、みなさまの会員情報（ログイン時に必要なメールアドレスとパスワード）を利用して行います。投票に関する情報は、投票期間開始時に、ご登録のメールアドレス宛に送付されるメール、および、オンライン会員管理システムに掲載します。つきましては、会員の皆様におかれましては、ご自身の会員情報をご確認の上、ぜひ投票して下さるようお願いいたします。

会員情報の確認やメール送付上の問題に関する問い合わせは、事務委託先の中西印刷までお願い致します。連絡先は、以下の通りです。

選挙管理委員会
委員長 平松 彩子

【事務委託先】

中西印刷株式会社・学会部

E-mail: jacp■nacος.com

（■を@に変更の上、ご送信下さい）

事務局からのお知らせ

1. 会員情報の変更や入退会のご希望、会費納入、年報・ニューズレター送付に関するお問い合わせは、中西印刷（株）にお問い合わせください。
2. 異動等による登録情報の変更は、学会ホームページのオンライン会員情報システムから行うことができます。大会関係等の重要な案内はメーリングリストや同システムを通じて行われますので、登録情報更新へのご協力をお願いいたします。
3. 会費の支払いは、原則としてクレジットカード払いに移行することになっております。ただし、ご事情によってご自身で郵便局にある振込用紙にご記入頂いて振込いただくことも可能です。詳細は事務委託先の中西印刷（株）にお問い合わせ下さい。連絡先は以下の通りです。

[事務委託先]

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

中西印刷株式会社 学会部 日本比較政治学会事務支局

TEL | 075-415-3661 FAX | 075-415-3662

E-mail | jacp■nacos.com (■を@に変更の上、ご送信下さい)

日本比較政治学会ニューズレター 第55号 2025年10月

日本比較政治学会 Japan Association for Comparative Politics

〒558-8585

大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3-138

大阪公立大学大学院法学研究科・稗田健志研究室

日本比較政治学会事務局

Email : jacp■jacpnet.org (■を@に変更の上、ご送信下さい)

ホームページ : <https://www.iacpnet.org/>